

# 阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会 報告書

## 【住民説明会概要】

■9月30日から11月4日まで、市内全15地区で、阿南市立小・中学校の再編に係る地域住民説明会を実施しました。

### 住民説明会開催概要

●全15地区の参加者数は、延べ249人でした。

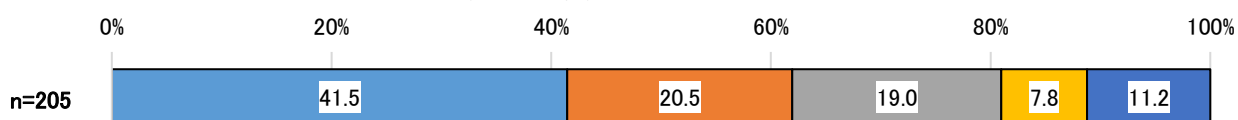
実施日	9/30	10/3	10/5	10/7	10/11	10/12	10/14	10/17
地区	富岡地区	宝田地区	中野島地区	長生地区	伊島地区	大野地区	加茂谷地区	桑野地区
会場	富岡公民館	宝田公民館	中野島公民館	長生公民館	伊島小・中学校体育館	大野公民館	クリーンピュア	桑野公民館
参加住民数	7人	20人	5人	16人	17人	14人	29人	8人
実施日	10/19	10/21	10/24	10/26	10/28	11/2	11/4	計
地区	見能林地区	新野地区	福井地区	椿地区	橘地区	羽ノ浦地区	那賀川地区	
会場	見能林公民館	新野公民館	福井公民館	椿公民館	橘公民館	コスモホール	那賀川社会福祉会館	
参加住民数	15人	33人	16人	19人	17人	26人	7人	249人

広報あなんやホームページへの掲載、マチコミメール、防災行政無線放送によるアナウンス等を行い、地域住民の方々の参加を呼びかけました。

### 住民説明会アンケート結果（全15地区）

●各地区での住民説明会の後、アンケートを実施しました。問3の集計は以下の通りです。

問3 今回の説明会を聞いて、阿南市における、今後の学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。（単数回答）



- 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである
- 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をすべきである
- 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである
- 再編・統合をする必要はない(現状のまま)
- その他

●有効回答者数は、205人です。「阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである」が41.5%と最も高く、次いで「児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をすべきである」20.5%、「現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである」19.0%となっています。

## 阿南市立小・中学校再編基本計画（素案）説明会アンケート調査

学校規模の適正化や再編・統合については、それぞれの地域の実情など様々な要素が関係する課題であることから、皆様の貴重なご意見を伺い、今後の方針の参考とさせていただくため、この度、本アンケート調査を実施することと致しました。ご協力のほどよろしく願いたします。

問1 お住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

- |      |        |        |        |      |       |
|------|--------|--------|--------|------|-------|
| 1 富岡 | 2 宝田   | 3 中野島  | 4 長生   | 5 大野 | 6 加茂谷 |
| 7 桑野 | 8 見能林  | 9 新野   | 10 福井  | 11 椿 | 12 伊島 |
| 13 橋 | 14 那賀川 | 15 羽ノ浦 | 16 その他 |      |       |

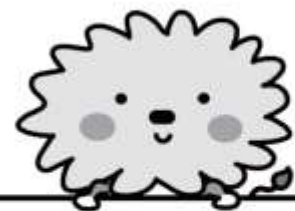
問2 あなたの年齢についてお答えください。(○は1つ)

- ア 10代    イ 20代    ウ 30代    エ 40代    オ 50代    カ 60代以上

問3 今回の説明会を聞いて、阿南市における、今後の学校再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(○は1つ)

- 1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである
- 2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである
- 3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである
- 4 再編・統合をする必要はない(現状のままでよい)
- 5 その他( )

問4 学校再編・統合について、ご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。



アンケートへのご協力  
ありがとうございました。

## 住民説明会概要

- 「阿南市立小・中学校再編基本計画（素案）」について、概要版の紙資料とスライドを用いて、説明を行いました。以下がその流れです。

**阿南市の教育方針**

**学校** 生きる力「確かな学力」「豊かな心」「健やかな身体」をバランスよく育む

**教育** 本市の持つ地域の宝を活かした教育

一人ひとりが持てる力を発揮しながら最大限に輝いて行ける学校教育の推進



**1 はじめに**

- 学校再編の計画体系は、基本計画と実施計画の2本立てを予定
- 令和4年度は基本計画を策定
- 基本計画の構成（前半、後半の2部構成。後半は基本方針）

基本計画	実施計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度</li> <li>基本方針</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度</li> <li>具体的な再編案</li> </ul>

**3 対象**

- 小学校21校  
+ 休校5校（大井・福井南・伊島・蒲生田・新野西）
- 中学校9校+休校1校（伊島）

小学校	中学校	休校
大井、福井南、伊島、蒲生田、新野西	伊島	大井、福井南、伊島、蒲生田、新野西

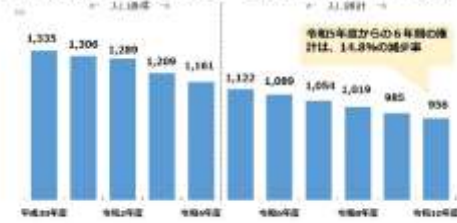


**基本方針**

- 学校再編を進める羅針盤
- 学校再編における様々な影響を考慮するためにも必要
- 児童生徒の教育環境の更なる向上
- 行政と市民の協働

- 住民説明会の位置づけ  
(令和4年、5年の流れから説明会を位置づけ)
- はじめに  
(前提として、児童生徒数の減少、施設の老朽化等を説明)
- 阿南市の教育方針  
(阿南市の教育方針の説明-阿南市教育振興基本計画より←)
- 人口の将来見通し  
(人口が2060年には、2015年と比較して約1/2、年少人口が2060年には、2020年と比較して半分以上の減少になることを説明←)
- 学校再編の計画体系  
(基本計画、実施計画での2本立て構成で進めることを説明←)
- 計画の期間  
(計画期間10年間の説明)
- 対象  
(計画の対象校-すべての小・中学校であることを説明←)
- 計画の着手  
(速やかな着手が必要であることを説明)
- 他の計画との整合性  
(総合計画、教育振興基本計画と整合性を図ることを説明←)
- 文部科学省の施策・近年の動向  
(小中一貫教育、義務教育学校、学校選択制等を説明)
- 基本方針  
(学校再編の基本方針を説明←)
- 学校の適正規模  
(学校の適正規模：  
小学校 12～18学級（1学年2～3学級）  
中学校 9～18学級（1学年3～6学級）  
1学級あたりの人数20人以上  
について説明)

### 富岡地区の人口推移・推計（0～14歳）



### 3 学校の課題と再編による効果

- 確かな学びを育む教育（確かな学びの保障、教職員の充実、教育課程の改革）
- 持続可能な地域社会の実現（人と人とのつながり強化、協働性や社会性の成長）
- 部活動や団体競技の拡充（部活動等の練習環境の向上）
- 特別支援教育の推進（すべての児童が学びたい教育）
- 計画的な施設整備（教育環境の一層の充実）

### 新設統合



### 通学



### 7 魅力ある新しい学校づくり



### 13 地区の人口推移・推計

（各地区の令和10年までの年少人口（0～14歳）の推計を示し、その減少を説明←）

### 14 学校の課題と再編による効果

（再編による効果（確かな学びの保障、教職員の充実、協調性や社会性の成長、部活動等の練習環境の向上等）を説明←）

### 15 学校再編の方法

（新設統合、既存の学校区を基本にすること等を説明←）

### 16 通学

（通学についての文科省の基準について説明←）

### 17 学校再編と家庭・地域との関係

（放課後対応、地域活性化、施設の有効活用について説明）

### 18 魅力ある新しい学校づくり

（再編における魅力ある学校づくりについて説明←）

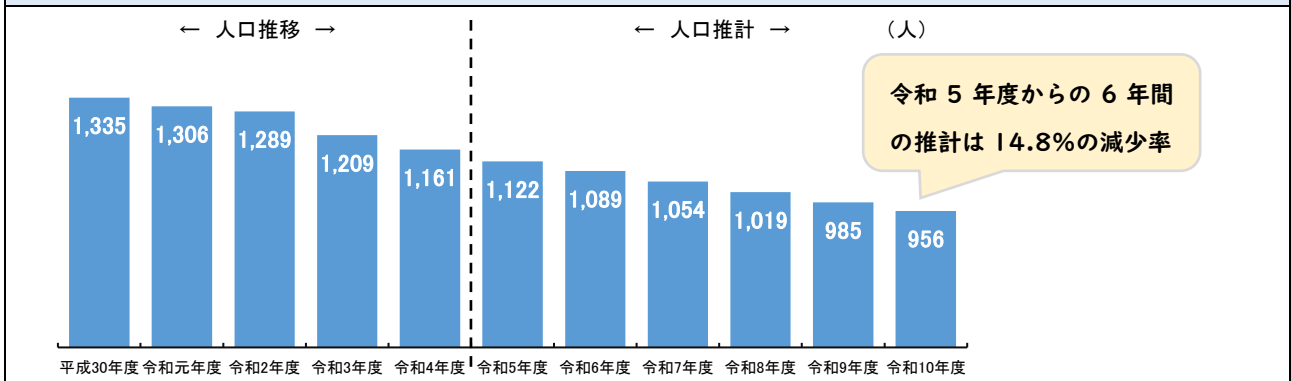
### 19 今後の予定

（今後の流れを説明）

【地区別説明会報告】

地区	富岡地区	開催日	2022年9月30日(金)
会場	富岡公民館	開催時間	19:00~20:00
出席者数	7人	就学校	富岡小学校・阿南中学校

富岡地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- 再編は児童・生徒が多いところも検討していくのか。⇒市全体を考えて検討していく。
- 通学距離に関して、地域によって格差が出るのでは。⇒通学距離も考慮し、児童・生徒数を中心に検討する。具体的な検討はこれから。
- 12学級がつくれる学校施設は限られてくるのでは。⇒今後、可能性を探っていく。
- 実際には保護者がどう思っているのか、説明会やアンケートの機会はあるのか。⇒直接的な説明会はないが、今年7月にアンケートを実施。4千件の回答を現在分析中。
- 各地区で出た意見は公表するのか。⇒阿南市のHPや広報などで公表していく。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

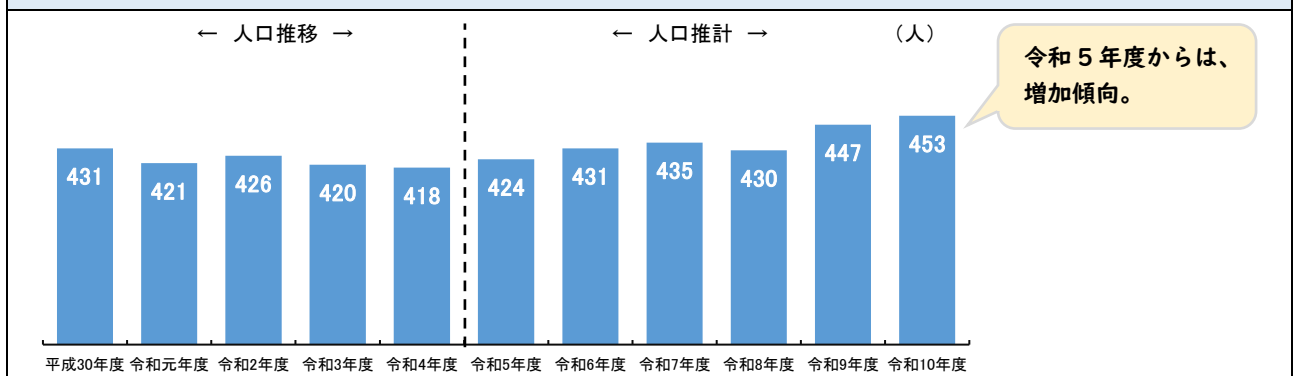
選択肢	回答数 n=7	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	5	71.4%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	0	0.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	2	28.6%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	0	0.0%

【自由記載(抜粋)】

- 教員の確保も問題が出てくるので、合わせて計画に入れてほしい。
- そもそも学校区割自体を見直す必要があると思う。
- 40年先を見ながらの再編・統合は気が長すぎるのではないかな。
- 子ども一人当たりの教員数は増えるようにしてほしい。
- 「学校へ行きたい」と思うような再編を考えてほしい。
- 人口減少の中で、再編は避けて通れない。
- 人数が少ない学校から、中心部の中高一貫校へ行きたいと思う児童が多いと思う。
- 計画を具体化していかないと、イメージがつかないことが多い。
- 幅広い年齢層の考えや意見を集約して、検討していくべきである。

地区	宝田地区	開催日	2022年10月3日(月)
会場	宝田公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	20人	就学校	宝田小学校・阿南第一中学校

### 宝田地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 子どもが少ないから学校を減らすのは当然だという議論になっており、メリットばかり言っているので、違和感を感じた。⇒少人数のメリットもあると思うが、これ以上人数が少なくなってくると、それを維持していくことにも限界が来ており、学校再編に取り組むことが避けて通れない段階にきている。
- 将来人口が減るから学校も減らすと、より一層人口が流出し、地域の活気が失われ、過疎化がより一層加速する。⇒人口減少対策は教育委員会だけではできない。市の機関を含め市民と一体となって考えていく必要がある項目だと思う。
- 近年IB教育バカロレア\*のような国際基準教育を導入しているところがあるが、再編の際にそのような新しい教育を入れることは考えているか。⇒現在、計画素案の段階であり、そのような意見があることをお伺いしておく。※国際バカロレア機構が実施する国際的な教育プログラムのこと。
- 市が負担するコストはみているだろうが、保護者が負担するコストはみているのか。⇒保護者の負担は、市が押しつけるのではなく、実行委員会や関係者等で話し合われたことを市で検討する。
- 義務教育学校に再編する場合、教師の配分や教える幅はどのようになるのか。⇒義務教育学校時の教員の配分は未定。学校がある程度の規模になれば、9教科すべての教員を配置できる。
- いつ子どもが実際に新しい学校に行けるのか全然見えない。遅いとメリットが何も受けられない。早く進めていただきたい。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

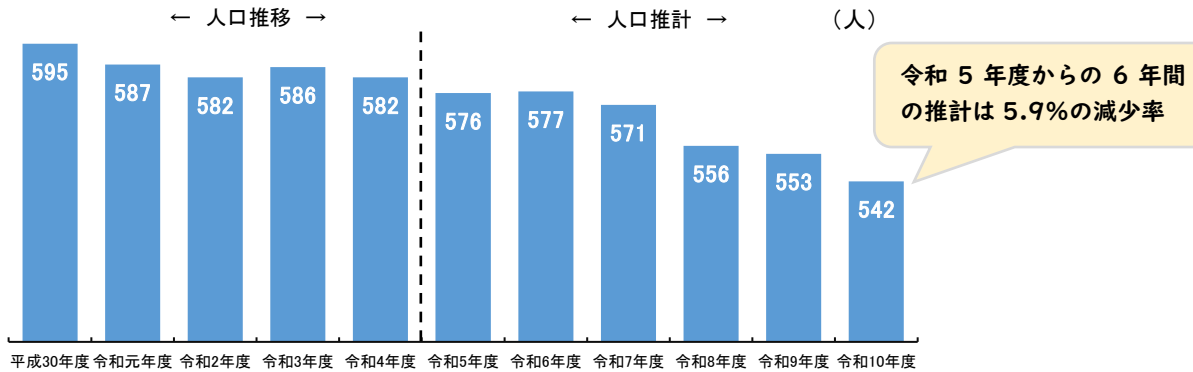
選択肢	回答数 n=13	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	8	61.5%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	7.7%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	1	7.7%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	2	15.4%
5 その他	1	7.7%

### 【自由記載(抜粋)】

- メリット・デメリットについて、両方から考えていくことが大切だと思う。
- 子どもの意見としては、クラスに人がたくさんいた方が良いと思う。
- 統合するなら、しばらく持続可能な規模で統合してほしい。一中学校区で一つの小学校くらい。
- 学校区の境目の人たちは、どの学校に行くか決められるような柔軟な区割りにしてほしい。

地区	中野島地区	開催日	2022年10月5日(水)
会場	中野島公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	5人	就学校	中野島小学校・横見小学校 阿南第一中学校

### 中野島地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 通学が一番のネック。地区をどのように編成していくかで大きく変わる。小学生は2kmでも大変で、自動車送迎するケースが多く、4kmは机上の空論。⇒4km歩くことが心配なのはわかる。スクールバスも、家から学校まですべての子どもたちを送り迎えすることはできない。どこかで乗り合わせをしたり、待ち合わせ場所が必要。再編の組み合わせが決まってくる過程で、通学方法も具体的に決めていく必要がある。
- 小中一貫校は、知らなかった。メリットとデメリットを教えてほしい。⇒メリットは、中学校は9教科あるので、小学5、6年生にも専門性の高い授業を行うことができる。また、中学生と小学生での学び合いが期待できる。デメリットは、通学距離で、小学低学年に4kmは無理がある。
- 別の小学校から小中一貫校に転入したり、小中一貫校の小学校だけ行って別の中学校に入ることあるのか。小中一貫校の小学校から、既存の中高一貫校へ行きたいといった場合はどうなるのか。⇒そういったことも含め今後検討する。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

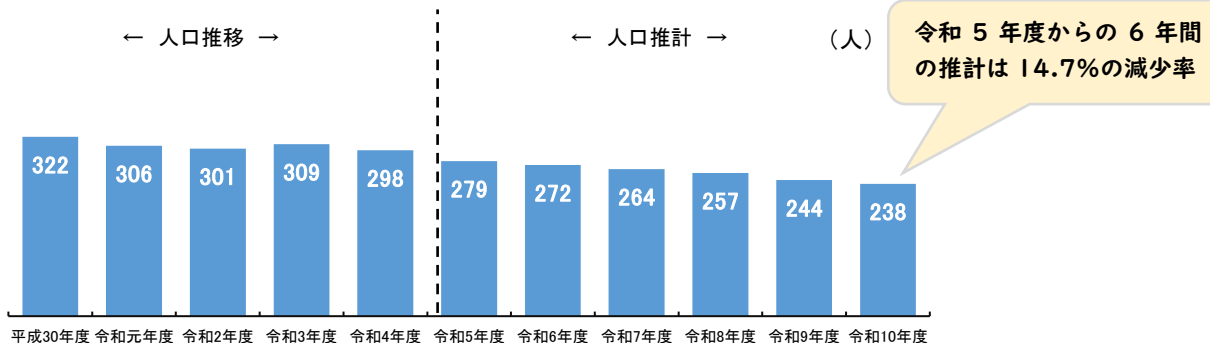
選択肢	回答数 n=4	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	1	25.0%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	25.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	2	50.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	0	0.0%

### 【自由記載(抜粋)】

- 通学が一番心配。
- 通学路の距離についてもですが、安全な道で行けるようにしてほしい。
- すべての人の賛同を得るのは難しいと思いますが、最大多数の最大幸福につながる英断をお願いします。

地区	長生地区	開催日	2022年10月7日(金)
会場	長生公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	16人	就学校	長生小学校・阿南第一中学校

### 長生地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 話の進め方が再編ありきである。今まで何をしてきたのか。人口減少も少子化もすでに分かっていたこと。⇒少子化と人口減少が著しく進み、同時に施設の老朽化が顕著に進んでいる。子ども達の教育環境の充実を最優先に考えると、どうしても学校再編の検討をはじめざるを得ない状況。人口減少対策は、全市的な取組として考えていく必要がある。
- 教育行政を担う立場として十分に考えてほしい。住民の切実・貴重な意見を吸い上げて、それをこれからの教育行政に生かす必要がある。⇒人口減は止まるところを知らない。令和5年度の実施計画でどの学校を統合して、どこに設置するかという話をする。その結果、地元から小学校が無くなることで、地元には非常に寂しく辛い思いをさせるかもしれないが、子ども達のために一番良いと思われる環境を提示したい。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

選択肢	回答数 n=13	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	4	30.8%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	7.7%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	3	23.1%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	3	23.1%
5 その他	2	15.4%

### 【自由記載(抜粋)】

- 再編統合のわくわくするポイントがほしい。防災の拠点として廃校の活用を検討してほしい。
- 若い世代の人の意見を聞いてほしい。
- 現状のままではいけないと思います。
- 子どもが実際にこのことについてどう感じているのか。各学校内で小・中学校の再編・統合について考えてもらうのはどうか。



地区	伊島地区	開催日	2022年10月11日(火)
会場	伊島小・中学校体育館	開催時間	13:30~15:00
出席者数	17人	就学校	伊島小学校(休校)・伊島中学校(休校)

**質疑応答内容(抜粋)**

- 伊島小・中学校を再開する道のりはあるのか。⇒再開するには、教育の機能や学校の運営に支障が出ないよう、十分に準備する必要がある。小中2つの校舎があるが、どちらかを残し、将来の学校再開に向けて維持管理を続け、学校の再開の可能性を残しながら取り組むことが今後の最善ではないかと思う。
- 親戚で、移住希望者を集めるのも限界があり、移住希望者を都市部から集めるためには、短期留学、長期留学が具体的で一番良いのではと思う。⇒県に、少し似た制度でデュアルスクールというものがある。ただ、短期留学、長期留学で受け入れて、教育の形をつくっていくとなると、それなりの枠組みも必要になる。

**説明会後のアンケート結果**

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

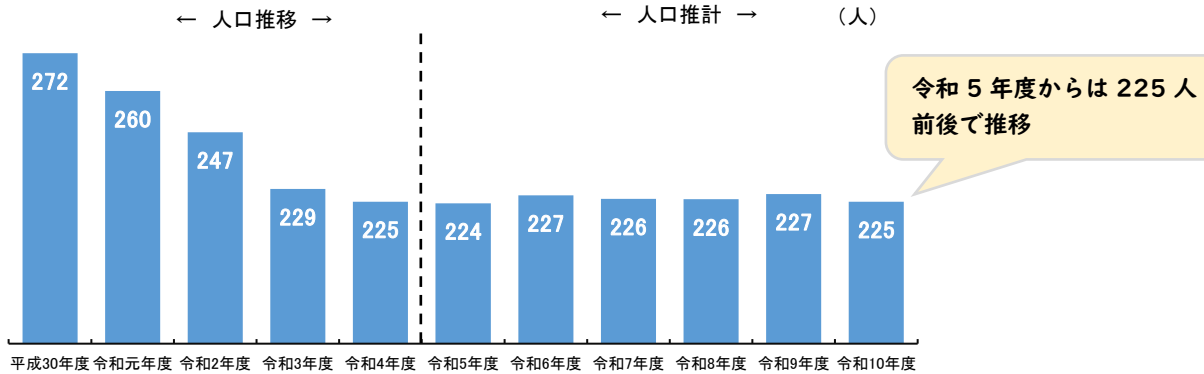
選択肢	回答数 n=15	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	5	33.3%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	3	20.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	4	26.7%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	1	6.7%
5 その他	2	13.3%

**【自由記載(抜粋)】**

- 1学級の人数について、20~25人ぐらいが良いのではないか。
- 過疎が進む地域において学校をなくすことは、過疎に一層の拍車をかけることになりかねないと思うので、児童数の減少に関わらず学校をなくすことは良くない。
- 休校、再開ということは、島の状況からできないと思う。
- 地域にとっては、学校は大事な施設です。学校が無くなれば町は廃れます。人数が少なくなっても、できるだけ残すべきだと思う。

地区	大野地区	開催日	2022年10月12日(水)
会場	大野公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	14人	就学校	大野小学校・阿南第一中学校

### 大野地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 再編が決まってから移動するまでの間、老朽化したものを修理しないということはないのか。  
⇒毎年、学校を通じて危険個所の報告を受け、子ども達の危険回避を最優先に改修にあっている。部分的な改修は随時必要であると考えている。
- 阿南市は子育てがしやすく、徳島市の小学校に比べてタブレット教育も進んでいると思う。再編時に、例えば、A校はスポーツに特化し、B校は理系教育に特化するなど、親も子もワクワクするような特色ある学校づくりをする予定はあるのか。⇒再編によって生まれたメリットを以て、次世代の保護者に阿南市での子育てを選んでほしいと願う。新しい何か価値を生み出せるような学校再編をしていきたい。
- 規模が大きくなることで、子どもが学校になじめないことがあるのではと心配している。なじめない子どもに手厚い支援がほしい。不登校児が増えた場合の対処など、再編のデメリットについても対応して頂きたい。⇒児童数が増えると、きめ細かさがなくなるのではという心配は分かるが、一方、児童数が増えると教員数も増え、子どもたちに対して目が届きやすくなる。また、阿南市では学校教育支援員を配置する事業も行っている。不登校については学校と連携しながら取り組んでいきたい。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

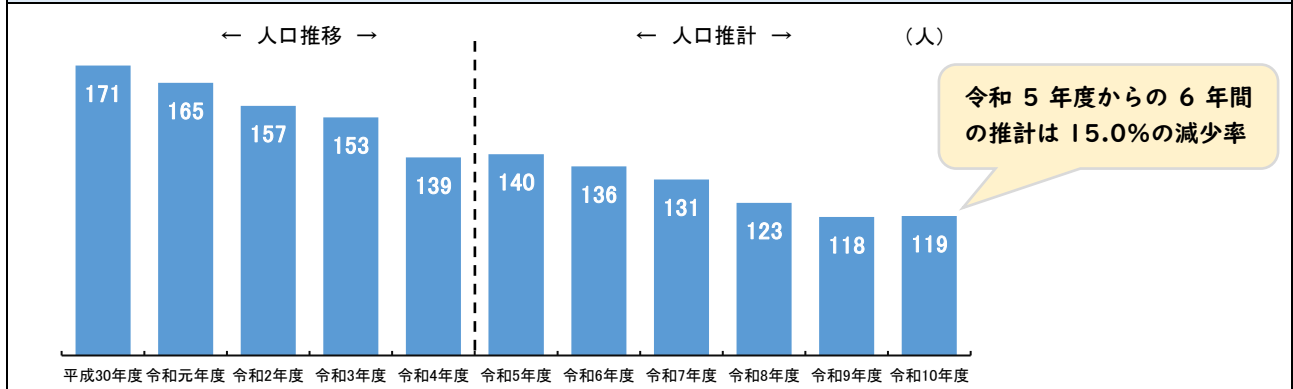
選択肢	回答数 n=13	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	8	61.5%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	7.7%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	2	15.4%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	1	7.7%
5 その他	1	7.7%

### 【自由記載(抜粋)】

- 放課後の子ども達が安全に遊べたり、学習できる環境を整えてほしい。共働きで、子どもを一人にしておくのが心配なので、施設の有効利用を是非とも考えてほしい。
- 教職員の確保も問題かと思う。民間人の登用など制度策定も必要だと思う。
- 再編することで、子ども達の教育レベルが向上する、意欲的な学びがある先進的な取組を期待。
- 再編は避けて通れないと強く感じた。子ども達が切磋琢磨できる環境を整え、自分らしく生き抜くことができるよう育成できる学校をつくってほしい。

地区	加茂谷地区	開催日	2022年10月14日(金)
会場	クリーンピュア	開催時間	19:00~20:30
出席者数	29人	就学校	吉井小学校・大井小学校(休校)・加茂谷中学校

### 加茂谷地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 部活動について、何年か先には学校での部活ではなく、外部に委託する案が出ているが。⇒今まだ検討中。地域で行う可能性もあるし、学校で行う可能性もある。例えば野球やバレーは、統合することによって存続していく方法もあるのではないか。
- 人数だけではなく、別の視点を持ってほしい。⇒少人数でのメリットもあるし、少ない人数の中での努力を積み重ねてきたが、限界にきている。学校運営、児童生徒に与える影響もある。
- 色々な教育のできる資源がいっぱいある。⇒地域で取り組んでいる移住支援をはじめ、地域の文化、自然文化、伝統等、学校教育に限らず、社会教育に活用していく。
- 多様性を考えると小学校も色々あってよい。⇒特色を持った子どもが行きたくなるような学校を、再編する機会に合わせて考えたい。一方、義務教育なので、みんなが一定の水準、公平に教育を受けられるよう、両方の視点で考える。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

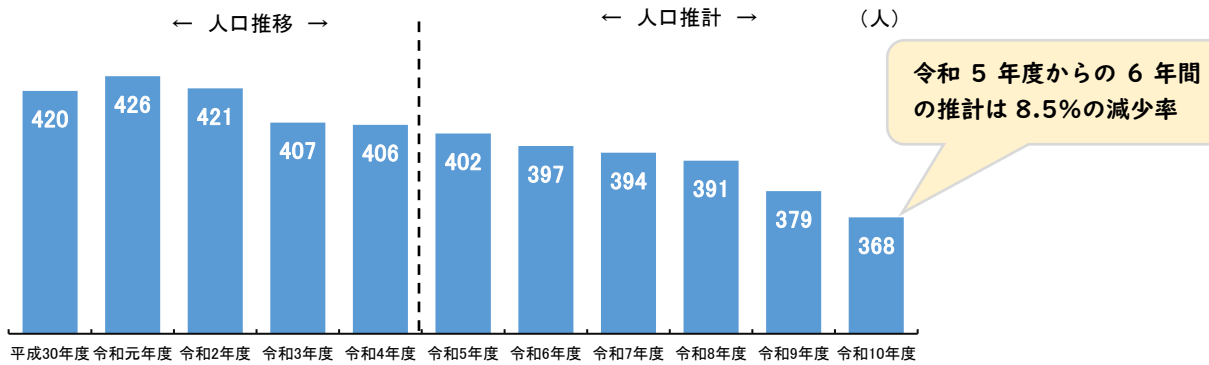
選択肢	回答数 n=25	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	5	20.0%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	4.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	5	20.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	6	24.0%
5 その他	8	32.0%

### 【自由記載(抜粋)】

- 立地的に統合が無理な場合、無理に統合しようとせず、選択制で呼び込む等で、ある程度の人口の格差が解消できないかと思う。
- 小・中一貫校の設置を真剣に検討してもらいたい。
- 中学校で部活動がなりたたなくなっている現状を見ると、統合もやむを得ないのかと思ったりする。未来を担っていく子ども達には、しっかりとお金と人をかけてほしい。
- 地域性、地勢、地域の歴史や地域の宝を活かす教育を重視すべき。詰め込み教育でなく、考える力を育む教育を基本とすべき。
- 市全体での再編・統合を考え、10年後、20年後の在り方を考えていけば良いと思う。

地区	桑野地区	開催日	2022年10月17日(月)
会場	桑野公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	8人	就学校	桑野小学校・山口小学校 阿南第二中学校

### 桑野地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 子ども達が10年後にどこにいるのかわからない。あと2カ月で来年度の保育所を決めなければいけないのに、困る。保育所の担当課と連携は取れているのか。⇒就学前の計画と密接に関係している。今後も連携を取りながら、計画をつくっていく。
- 学校は、地域の方々も大いにかかわっている。地域との関係が希薄化しないようにすることなので、その点を強く要望する。⇒学校は地域コミュニティの核になっていると承知している。今後、地域が広がれば、関わる地域が広がることも理解できる。地域と地域をつなぐ役割は、市で考えていく部分。
- 不登校の子ども達は、合併したときに新しい学校に入っていけるのか。大きな施設という環境に受け込めるのか不安。⇒再編によって、子ども達にとって不利益になる状況になるとは一概に言えない。学校や関係機関と相談しながら、再編が子ども達にとって冷たい形にならないように考えていかないといけない。
- 特別支援が必要な子ども達は、環境の変化にすごく弱い。発達障がいのある子どもたちへの配慮を知りたい。⇒特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室のいずれが望ましいか、支援委員会で協議しながらより良い選択肢を考えていく。
- 再編が決まった後、再編先が一緒の学校同士で、前準備として、例えば、月一回一緒に授業をすとか、一緒に課外授業に行くなどの交流を開いてもらいたい。⇒貴重なご意見として今後活かしたい。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

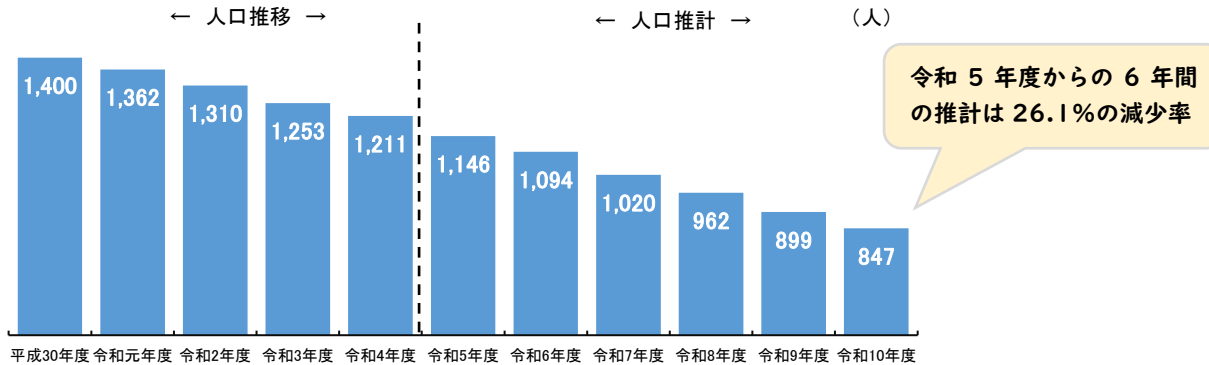
選択肢	回答数 n=7	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	1	14.3%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	1	14.3%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	3	42.9%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	2	28.6%

### 【自由記載(抜粋)】

- 1年間とか統合先との交流のタイミングをつくってほしい。発達障がい児へのケアも考えてほしい。
- 子ども達の成長の面でも、防災の観点からも、地域の関わりを強く持ち続けてもらいたいと思う。

地区	見能林地区	開催日	2022年10月19日(水)
会場	見能林公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	15人	就学校	見能林小学校・津乃峰小学校 阿南中学校

### 見能林地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 具体的な統合の形などについて、このような説明会が開催されるのか。⇒説明会はこれ一回ではなく、実施計画ができた時点で、様々な形で説明したい。
- 通学手段について、阿波福井駅から羽ノ浦駅までの間は、阿南市がJRを含めて協議頂きたい。⇒教育委員会だけではできる話ではないが、バスにしてもJRにしても、阿南市内部で協議していきたい。
- 数合わせは決して良いことではないと思っているが、専門教科の先生が指導にあたるという点で、数を合わせることも必要なのかと感じる。⇒国の適正規模に対しては、一つの基本方針であり、これにしなければならないというわけではない。ある程度の学級数になれば、専門教科免許を持った先生に教えてもらうことは可能。
- 義務教育学校について、例えば、小学校5年生ぐらいまでは分校方式にし、中学校もしくは小学校6年生からは1つの学校にまとめたり、そういうアイデアがあればと思う。⇒魅力ある学校づくりをしたいという思いもありながら、逆に奇抜なアイデアを追い求めるのもいかなものかというのもある。色々な方法をこれから考えていく。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

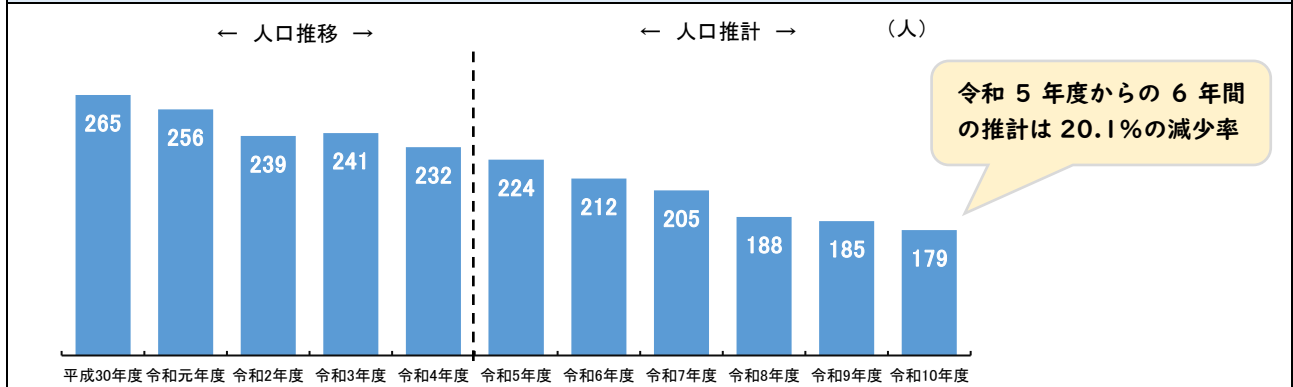
選択肢	回答数 n=15	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	10	66.7%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	4	26.7%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	0	0.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	1	6.7%

### 【自由記載(抜粋)】

- 各学校に常勤のカウンセリングの人を配置する等、教員だけが良くなる統合ではなく、子ども達のSOSに気づけるようにしてほしい。
- コミュニティスクールを充実させることで、地域とのつながりを深め、特色ある学校づくりの充実が求められている。
- 免許外指導を解消するのはとても良い案だと思う。免許外指導は教師にとっても、子どもにとっても負担だと思う。

地区	新野地区	開催日	2022年10月21日(金)
会場	新野公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	33人	就学校	新野小学校・新野東小学校・新野西小学校(休校)・新野中学校

### 新野地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



### 質疑応答内容(抜粋)

- 新野は津波が来ない町。人数が多いからといって、危険な学校に通っていたら、保護者は心配になる。人命を考えた再編統合にしてもらいたい。災害拠点づくりが叫ばれているが、それにリンクした学校を新たにつくり上げてほしい。⇒防災について、地域のあらゆる様子等を加味しながら、統合・再編について考えていく。
- 再編によるデメリットは何か。⇒デメリットとして、大きなものに通学距離が長くなることがある。国の指針にある4kmを本当に子ども達が歩いて通えるのかが課題であり、考えていかなければならない。
- 合意形成をして再編統合を実施していくというが、どういう状態になったら合意形成とみなすのか。⇒色々な課題があるので、住民、保護者に100%ご理解いただくのは難しい。合意形成完了の判断の仕方については、例えばアンケートを実施するなど、まだ具体的な方法の考えには至っていないが、十分説明を尽くす。
- 子ども達が学校再編についてどう思っているのか、子ども達の意見を聞く機会はあるのか。⇒今回子ども達に問かける予定はない。問かけや説明する機会については学校と協力しながら考えていきたい。

### 説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

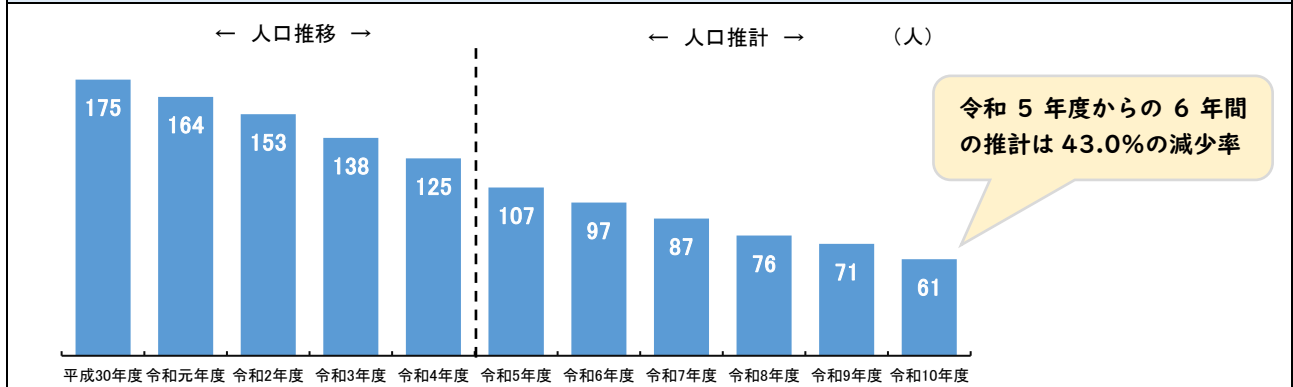
選択肢	回答数 n=25	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	6	24.0%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	11	44.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	5	20.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	1	4.0%
5 その他	2	8.0%

### 【自由記載(抜粋)】

- 再編・統合をする限りは、新たな学校で単独で部活ができるような人数になるように。
- なるべく早く再編ができればと思う。計画中に休校が新しく生じるようであれば、時間の無駄が大きい。
- 現在も歩きやすい歩道がなく、危険なため、送り迎えをしないと不安。通学しやすい道路の整備を。
- 常任のスクールカウンセラーの設置と、不登校児のためのフリースクール開設も希望する。

地区	福井地区	開催日	2022年10月24日(月)
会場	福井公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	16人	就学校	福井小学校・福井南小学校(休校) 福井中学校

福井地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- 福井地区も人口が極端に少ない。スピード感を持ってやっていただきたい。⇒福井地区の人口減少は、想像を超えた減少率になっている。随時見直しながら計画を立てていく。
- 将来的には、高等学校進学時に、大規模校の子ども達と同じ環境に放り込まれる。子どもの少ない地域で子育てする親としては不安を感じる。⇒目の前の子ども達には、力一杯持てる力をつけてあげよう、少しでも良い環境をと考えている。少しでも今の環境で良かったと思えるよう努力する。
- 中学校の教員は、教科担任制だと思うが、子どもが減少した場合、教員も減るのか。⇒中学校の場合、3クラスなら教員は8名と決まっている。学級の数によって教員の配置が決められている。今回の一つの方針であるクラス替えができるというのは、ある程度の教員数が配置できる。
- 市民との合意形成はどのように図るつもりか。⇒全員が文句なしということはない。説明をつくして、色々な方々から意見を伺い、最後は行政が責任をもって進めさせていただく。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

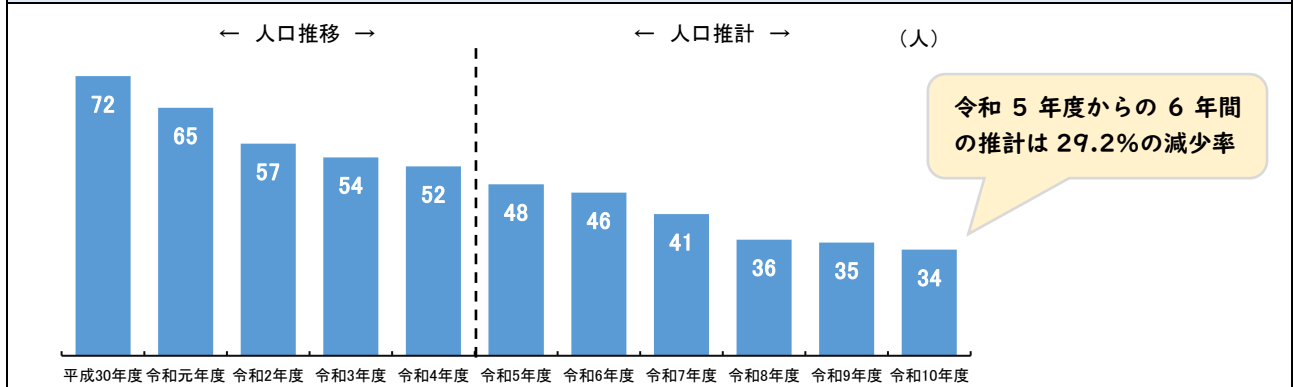
選択肢	回答数 n=15	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	8	53.3%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	4	26.7%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	3	20.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	0	0.0%

【自由記載(抜粋)】

- 現状からして再編・統合は仕方がない。急速な少子高齢化が進む中、地区自体がなくなる。
- もっと早く取組を開始してほしい。わが子の教育環境が心配。とりあえず、近辺中学校同士の交流だけでも始めてほしい。
- 実施計画の策定を急いでほしい。
- 第一に子どものことを考えて、学校再編・統合を進めていただきたい。
- 色々考えているようだが、スピード感が全くない。

地区	樺地区	開催日	2022年10月26日(水)
会場	樺公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	19人	就学校	樺小学校・樺泊小学校・蒲生田小学校(休校)・樺町中学校

樺地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- PTA 会議を開き、このような意見が出たとコミュニティスクールで集約した場合、その意見は、重要視してもらえるのか。⇒すべてを反映できるものではないが、より良い計画になると判断できるものは採用する。より良くなることにつながる意見を採用したい。
- 大事になってくるのは、保育所や幼稚園の保護者がどう思っているかである。⇒幼稚園、保育所に通園・通所している保護者にもアンケートを実施し、回答を得ている。関係各課と連携し、情報共有しながら進めていく。
- 通っている途中で再編統合される可能性があるのだったら、子どもが置かれている教育環境を考えると、地元の中学校ではなく、最初から統合予定先の中学校に通わせておいた方が良いのではと考えるが。⇒環境が変わることについて、精神面やストレス面からも検討していく必要がある。再編統合する前から学校間での交流をはじめたり、行事を一緒に実施していくことが必要と考える。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

選択肢	回答数 n=15	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	5	33.3%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	2	13.3%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	4	26.7%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	2	13.3%
5 その他	2	13.3%

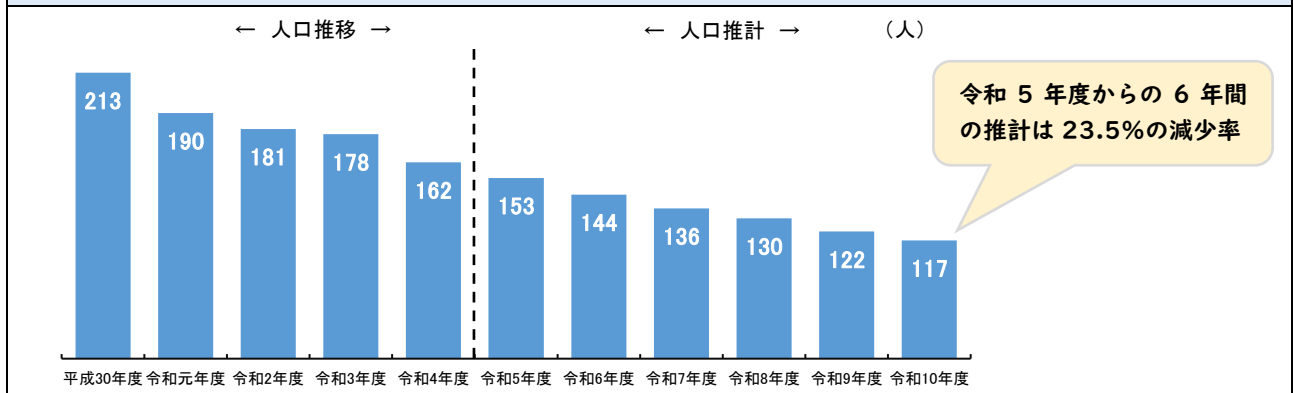
【自由記載(抜粋)】

- 小規模でも、多様な活動(部活など)が大きな学校と同じように経験できるようにしてほしい。
- 10年経つと予想以上に児童が減ると思う。まずは児童数の少ないところから進めたらどうでしょうか。
- 子ども達にとってより良い教育環境を迅速に整えてほしい。遅すぎる。
- 地域やそれぞれの学校の規模や特色を生かした取組を認め、実践してほしい。再編・統合によって、児童・生徒数の確保をしつつ、各学校に特徴・強みを創出・確保するような取組をお願いしたい。



地区	橘地区	開催日	2022年10月28日(金)
会場	橘公民館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	17人	就学校	橘小学校・阿南第二中学校

橘地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- 児童クラブも統合されるのか。⇒そのことも併せて検討していく。
- 南海トラフの被害を受けにくい地域とか、受けやすい場所とかあると思うのですが。⇒防災面も重要であると考えている。検討していく。
- 統合の仕組みは、今後どうなるのか。⇒実施計画を示し、住民説明会等でも示し、徐々に合意形成ができたところから、順次必要に応じて準備会、検討会などが立ち上がり、前段階からの交流を通して子ども達がスムーズに準備できるようにする。
- 支援学級についてのフォローを具体的に知りたい。⇒学校支援コーディネーターがいるし、一人ひとりの特性を考慮して、学校と協議して進めていく。クラスが増えると、教員も複数人になるので、子ども達に安心感を与えることができるし、お互い励まし合える仲間が増えるというメリットもあると考えている。
- 統合の際は、やはり近い地域関係での学校の統合か。⇒地域によっても課題があり、単なる数合わせにはしない。小学校の先にある中学校も考えないといけない。施設に関しても考慮していく。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

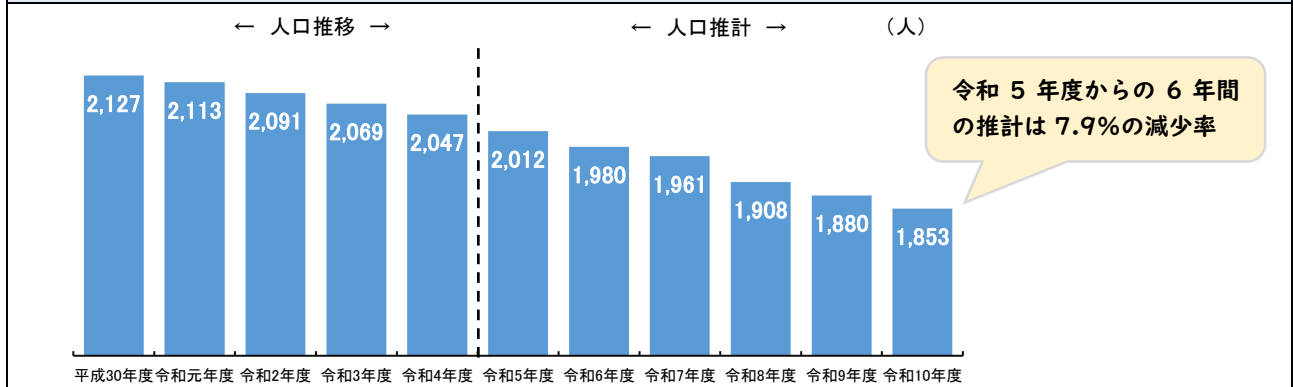
選択肢	回答数 n=15	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	6	40.0%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	5	33.3%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	3	20.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	1	6.7%

【自由記載(抜粋)】

- スクールバス等、通学手段についても十分検討してほしい。
- ハンディのある児童・生徒が置き去りにならないよう再編してほしい。
- 小学校、中学校のそれぞれの統合ではなく、小中一貫校または義務教育学校の方が受け入れやすい。
- 子どもが自分のクラスと支援学級を行き来しているが、少人数から一気に人数が増えて、環境の変化について行けるのか、不安な事しかない。
- 橘地区は津波の心配があるので、防災面でも場所を考えてほしい。
- 途中の学年で再編される場合、進学面での混乱が起きないようにスムーズな移行を望みます。

地区	羽ノ浦地区	開催日	2022年11月2日(水)
会場	コスモホール	開催時間	19:00~20:30
出席者数	26人	就学校	羽ノ浦小学校・岩脇小学校 羽ノ浦中学校

羽ノ浦地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- 人数が少ない学校から統合が始まるのであれば、羽ノ浦は再編が遅くなるのでは。学校、運動場、プールの上に道が2本あり、防災防犯、交通安全等は大丈夫か。羽ノ浦小の建て替えのことが見えてこない。⇒羽ノ浦小学校は、老朽化が進んでおり、建て替え計画を策定する必要があるとして、現在の敷地に加え、羽ノ浦支所、くるみ保育所、JA東とくしま羽ノ浦支所を一体整備することを基本方針としている。保育所等整備の進捗も関係している。保育行政とも連携して進めていく。空白が生まれないよう計画していく。
- 小中それぞれの場所で建替えた場合、場所が離れているのに小中一貫は実現できるのか。⇒小学校、中学校が離れていても小中一貫等の可能性はある。あらゆる可能性を含めて考えていく。
- 羽ノ浦小学校の建物は本当に古い。規模も大きいし、児童の減少具合も少ないので、即始めていかなければならない。⇒緊急性を要するところから順次やっていくのも一つの方法である。時期を見定めながら進めていく。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

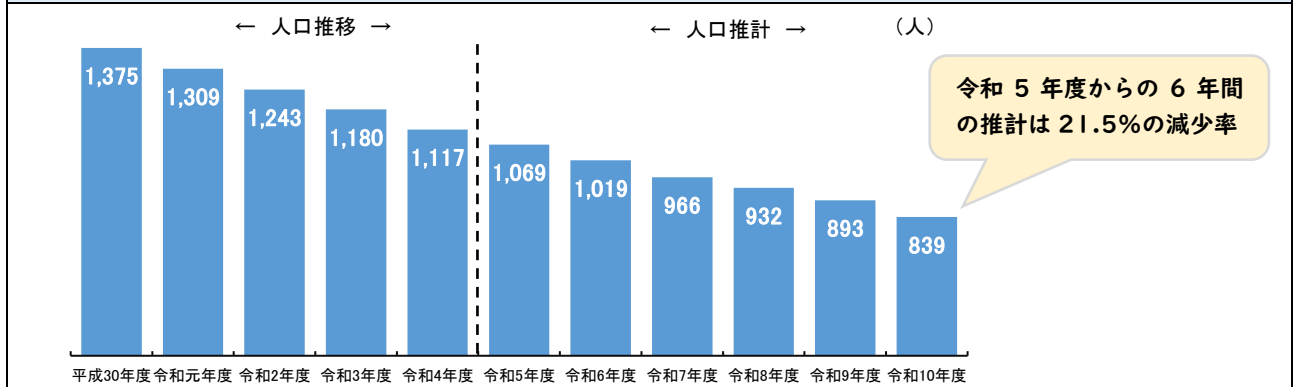
選択肢	回答数 n=19	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	12	63.2%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	5	26.3%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	1	5.3%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	1	5.3%

【自由記載(抜粋)】

- 再編・統合するにあたり、防災防犯をどこまで高めていけるのか。建て替える場所も具体性を伴った話し合いを今後期待したい。
- 分校も視野に入れて、ITを活用し、教室が離れていても一緒に授業はできるのでは。新しい学校の在り方を検討して頂きたい。
- 再編に関しては、保護者と子どもの意見を尊重してほしい。地域ブランドのために残すという大人の意見は無視していいと思う。
- 羽ノ浦小学校のトイレが汚いので、直してほしい。

地区	那賀川地区	開催日	2022年11月4日(金)
会場	那賀川社会福祉会館	開催時間	19:00~20:30
出席者数	7人	就学校	今津小学校・平島小学校 那賀川中学校

那賀川地区の現状報告・年少人口(0~14歳)の推移と推計



質疑応答内容(抜粋)

- 統合して新しい小学校、中学校をつくる場合、なくなる学校の歴史や校歌を残していかなければいけない。統合前の学校の資料は残しておくべき。⇒十分に配慮したい。
- スクールバスという単語を聞くだけで不安になる。スクールバスに先生か誰か乗ってくれるのか。親として、そういう細かいところまで心配になる。⇒スクールバスに教員が乗ることはない。運転手に任せる形になる。事故が起こらないよう万全な形を考えていきたい。
- 統合するとして、新しく建てるとしたら場所はどのあたりになるのか。⇒まずは既存の校舎が使えないか検討する。老朽化している校舎を増設も含めて建て替える、規模を確保することもある。

説明会後のアンケート結果

問3 今回の説明を聞いて、阿南市における今後の学級再編・統合について、どのようにするのが望ましいと考えますか。(単数回答)

選択肢	回答数 n=4	割合
1 阿南市全体で再編・統合を検討し、現在の小学校区も見直すべきである	1	25.0%
2 児童・生徒数の少ない学校で再編・統合をするべきである	2	50.0%
3 現状の小学校区を変更せずに再編を検討すべきである	1	25.0%
4 再編・統合をする必要はない(現状のまま)	0	0.0%
5 その他	0	0.0%

【自由記載(抜粋)】

- 地域によっては、子ども達の足だけで行ける距離が限られていると思う。親に負担がかかると思う。
- 理想的な再編になることを願う。